

積算基準	土木
現場中間検査	不要
工場等派遣中間検査	不要
樹木保険加入	不要

工 事 設 計 書

事業年度	令和 8年度				
設計年月	令和 年 月				
予算科目	款	項	目	節	
工事場所	京都市西京区大枝西新林町四丁目他地内				
路線名又は河川名等					
工事名	歩道整備（その2）工事（洛西11号線（新林中通））				
工期	契約日の翌日から170日間				
事業課（所）名	西京土木みどり事務所	単価使用年月	令和 年 月		
工事番号		歩掛適用年月	令和 年 月		
変更回数		基準適用年月	令和 年 月		
主工種		単価地区			
前払金支出		調整区分			

京都市 建設局

チェック欄	

工事概要

工事延長				m	292
舗装打換え工	m2	894	植樹柵	箇所	21
地先境界ブロック	m	1	転落（横断）防止柵	m	516
構造物撤去工	式	1			

施工理由

本工事は、傷んだ歩道舗装の更新を行い、歩行者の安全で円滑な通行を確保するものである。

		設計額		請負額	
		金額	増減額	金額	増減額
工	事	前回	円	円	円
		今回	円	円	円
内	工事価格	前回	円	円	円
		今回	円	円	円
訳	消費税相当額	前回	円	円	円
		今回	円	円	円
支	給品費	前回	円	円	円
		今回	円	円	円

京都市 建設局

積算参考資料（間接費補正一覧）

単価使用年月	2026年5月	
歩掛適用年月	2026年5月	
基準適用年月	2026年5月	
単価地区	2601: I地区	
調整区分	単独工事	
共通仮設費（率計上）		
主たる工種	13:道路維持工事	
施工地域等補正	大都市（2）	1.5
ICT施工補正	補正なし	1.0
週休2日補正	補正なし	1.00
現場管理費		
施工地域等補正	大都市（2）	1.2
ICT施工補正	補正なし	1.0
週休2日補正	補正なし	1.00
一般管理費		
前払金支出割合による補正	補正を行わない	1.00
財団法人等による補正	補正を行わない	1.00
契約保証に係る補正率	金銭的保証	0.04%

設計内訳書 (本01)

工事名	歩道整備 (その2) 工事 (洛西11号線 (新林中通))				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路維持	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
道路維持		式	1				
道路土工		式	1				
掘削工		式	1				
掘削	土質:土砂, 施工方法:上記以外(小規模), 施工数量: 小規模(標準)	m3	130				単 1号(概)
舗装工		式	1				
舗装打換え工		式	1				
舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:15cm以下	m	34				単 2号(概)
舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:15cm以下	m2	900				単 3号(概)
フィルター層	材料種類:山砂(洗い・真砂土)75 μ m通過6%以下, 仕上り厚:50mm	m2	894				単 4号
下層路盤	路盤材種類:再生クワッシュンRC-30, 仕上り厚:100mm	m2	894				単 5号
表層 (透水性)	材料種類:開粒度アスコン(13), 舗装厚:40mm, 平均幅員: 1.4m以上2.4m未満	m2	894				単 6号
表層 (橋梁部)	材料種類:再生細粒度アスコン(13), 舗装厚:40mm, 平均 幅員:1.4m以上2.4m未満	m2	3				単 7号
縁石工		式	1				

設計内訳書 (本01)

工事名	歩道整備 (その2) 工事 (洛西11号線 (新林中通))				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路維持	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
作業土工		式	1				
床掘り (参考数量)	土質:土砂	m3	9				単 8号(概)
埋戻し (参考数量)	土質区分:土砂, 土質:土砂	m3	7				単 9号(概)
縁石工		式	1				
地先境界ブロック	ブロック規格:A種(120×120×600)	m	1				単 10号(概)
植樹樹	種別:京都市型第1種	箇所	21				単 11号(概)
防根シート設置工		式	1				
防根シート設置	防根シート規格:W=500, ポリプロピレン製不織布	m	79				単 12号(概)
防護柵工		式	1				
防止柵工		式	1				
転落(横断)防止柵	柵高:0.8m, 作業区分:プレキャストコンクリートブロック建込	m	516				単 13号
構造物撤去工		式	1				
防護柵撤去工		式	1				

設計内訳書 (本01)

工事名	歩道整備 (その2) 工事 (洛西11号線 (新林中通))				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路維持	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
防護柵(横断・転落防止柵)撤去 (ヒーム式・パネル式)	施工区分:プレキャストコンクリートブロック建込, 防護柵種類:ヒーム式・パネル式, 支柱間隔:2m	m	80				単 14号(概)
防護柵(横断・転落防止柵)撤去 (門型)	施工区分:プレキャストコンクリートブロック建込, 防護柵種類:門型, 支柱間隔:3m	m	128				単 15号(概)
構造物取壊し工		式	1				
コンクリート構造物取壊し	構造物区分:無筋構造物, 工法区分:人力施工	m ³	2				単 16号(概)
支障木撤去工		式	1				
根切り	根径20cm以下	箇所	21				単 17号(概)
木くず積込	人力積込	t	0.14				単 18号(概)
運搬処理工		式	1				
土砂等運搬	土質:土砂	m ³	6				単 19号(概)
残土等処分	土質:土砂(砂質土)	m ³	6				単 20号
廃路盤材運搬	種別:廃路盤材	m ³	130				単 21号(概)
廃路盤材処分	種別:廃路盤材	m ³	130				単 22号
殻運搬	殻種別:アスファルト殻	m ³	45				単 23号(概)

設計内訳書 (本01)

工事名	歩道整備 (その2) 工事 (洛西11号線 (新林中通))				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路維持	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
殻処分	殻種別:アスファルト殻	m3	45				単 24号
殻運搬 (人力積込)	殻種別:コンクリート殻(無筋)	m3	6				単 25号(概)
殻処分	殻種別:コンクリート殻(無筋)	m3	6				単 26号
木くず運搬	積込区分:人力積込, 種別:根	t	0.14				単 27号(概)
木くず処分	種別:根	t	0.14				単 28号
スクラップ 運搬	発生材種類:スクラップ	t	2.19				単 29号(概)
スクラップ 処分	種別:ヘビ [°] -H3	t	-2.19				単 30号
仮設工		式	1				
交通管理工		式	1				
交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人日	93				単 31号
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				

設計内訳書（本01）

工事名	歩道整備（その2）工事（洛西11号線（新林中通））				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路維持	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
概略発注工 概略発注工を除く直接工事費の 17.4%以内		式	1				(概)を参照
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				
共通仮設費		式	1				
現場環境改善費		式	1				
みやこ柚木工事看板	規格:1,100×1,400	枚	2				単 32号
共通仮設費（率計上）		式	1				
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				
一般管理費等		式	1				
工事価格		式	1				
消費税額及び地方消費税額		式	1				

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 1号	掘削	土質:土砂,施工方法:上記以外(小規模),施工数量: 小規模(標準)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
掘削		土砂,上記以外(小規模),小規模(標準)						
CB210100			m3	1				
合計								
単価							円/m3	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 2号	舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版,舗装版厚:15cm以下	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断		アスファルト舗装版,15cm以下,全ての費用						
CB430510			m	1				
合計								
単価							円/m	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 3号	舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:15cm以下	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	舗装版破碎	アスファルト舗装版, 無し, 必要, 15cm以下, 有り, 全ての費用	m2	1				
	CB430310							
	合計							
	単価						円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 4号	フィルター層	材料種類:山砂(洗い・真砂土)75μm通過6%以下, 仕上り厚:50mm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	フィルター層	40mm以上60mm未満	m2	1				
	CB410650							
	合計							
	単価						円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 5号	下層路盤	路盤材種類:再生クワッシュランRC-30, 仕上り厚:100mm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	下層路盤(歩道部)	100mm, 1層施工, 再生クワッシュラン RC-30, 全ての費用	m2	1				
	CB410031							
	合計							
	単価						円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 6号	表層(透水性)	材料種類:開粒度アスコン(13), 舗装厚:40mm, 平均幅員:1.4m以上2.4m未満	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	透水性アスファルト舗装	1.4m以上2.4m未満, 40mm, 開粒度アスコン(13)	m2	1				
	CB410660							
	合計							
	単価						円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 7号	表層 (橋梁部)	材料種類:再生細粒度アスコン(13), 舗装厚:40mm, 平均幅員:1.4m以上2.4m未満	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	表層 (歩道部)	1.4m以上, 40mm, 再生細粒度アスコン(13), タックコート PK-4, 全ての費用	m2	1				
	CB410261							
	合計							
	単価						円/m2	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 8号	床掘り (参考数量)	土質:土砂	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	床掘り	土砂, 上記以外(小規模), 全ての費用	m3	1				
	CB210030							
	合計							
	単価						円/m3	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 9号	埋戻し (参考数量)	土質区分:土砂,土質:土砂	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	埋戻し	上記以外(小規模),土砂,全ての費用						
	CB210410		m3	1				
	合計							
	単価						円/m3	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 10号	地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	ﾌﾞﾛｯｸ規格:A種(120×120×600)	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	設置,A種(120×120×600),再生ｸﾗｯｼﾞﾏｰﾝ RC-40,18-8-25(高炉),有り						
	CB422520		m	1				
	合計							
	単価						円/m	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 11号	植樹柵	種別:京都市型第1種	単位	箇所	単位数	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	基礎碎石	7.5cmを超え12.5cm以下,再生グラッサラン 40~0,全ての費用	m2	7.3				
	CB221110							
	コンクリート	無筋・鉄筋構造物,人力打設,18-8-25(高炉),一般養生,有り,全ての費用	m3	0.28				
	CB240010							
	型枠	一般型枠,均しコンクリート	m2	3.2				
	CB240210							
	植樹柵ブロック設置(京都市型)	第1種	箇所	10				単 33号
	DY1106							
	合計							
	単価							円/箇所

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 12号	防根シート設置	防根シート規格:W=500,ポリプロピレン製不織布	単位	m	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	R0104		人	0.35				[] [1]
材料費 防根シート	Y000800001001		m	11				
諸雑費(率+まるめ)	ZS8000004	3%	式	1				[1] []
合計								
単価							円/m	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 13号	転落(横断)防止柵	柵高:0.8m, 作業区分:プレキャストコンクリートブロック建込	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
防護柵(横断・転落防止柵)設置工		プレキャストコンクリートブロック建込, ビーム式・パネル式, 3m, 100m以上(標準), 無, 無	m	1			単 34号	
WB810760								
合計								
単価							円/m	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 14号	防護柵(横断・転落防止柵)撤去 (ビーム式・パネル式)	施工区分:プレキャストコンクリートブロック建込, 防護柵種類:ビーム式・パネル式, 支柱間隔:2m	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
防護柵(横断・転落防止柵)撤去工		プレキャストコンクリートブロック建込, ビーム式・パネル式, 2m, 無, 無	m	1			単 35号	
WB810770								
合計								
単価							円/m	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 15号	防護柵(横断・転落防止柵)撤去 (門型)	施工区分:プレキャストコンクリートブロック建込, 防護柵種類: 門型, 支柱間隔:3m	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	防護柵(横断・転落防止柵)撤去工	プレキャストコンクリートブロック建込, 門型, 3m, 無, 無	m	1				単 36号
	WB810770							
	合計							
	単価							円/m

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 16号	コンクリート構造物取壊し	構造物区分:無筋構造物, 工法区分:人力施工	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	構造物とりこわし	無筋構造物, 人力施工, 無し, 無し	m3	1				単 37号
	WB824010							
	合計							
	単価							円/m3

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 17号	根切り	根径20cm以下	単位	箇所	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	0.2				[] [1]
	R0125							
	造園工		人	2.2				[] [1]
	R0104							
	普通作業員		人	0.5				[] [1]
	R0102							
	チェーンソー		日	0.5				単 38号
	諸雑費(率+まるめ)							[1] []
	ZS8000004	6%	式	1				
	合計							
	単価							円/箇所

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 18号	木くず積込	人力積込	単位	t	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
木くず積込 DY1414		人力積込	t	1			単 39号	
合計								
単価							円/t	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 19号	土砂等運搬	土質:土砂	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土砂等運搬 CB210110		小規模,ハック砂山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),有り,2.0km以下	m3	1				
合計								
単価							円/m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 20号	残土等処分	土質:土砂(砂質土)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	残土等処分		m3	1				
	CB210560		m3	1				
	合計							
	単価						円/m3	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 21号	廃路盤材運搬	種別:廃路盤材	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	廃路盤材運搬	機械積込, 有, 10km以上20km未満						単 40号
	DY1411		m3	1				
	合計							
	単価						円/m3	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 22号	廃路盤材処分	種別:廃路盤材	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 廃路盤材	Y007600000002		m3	1				
合計								
単価							円/m3	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 23号	殻運搬	殻種別:アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬	CB227010	舗装版破碎,機械(対策不要厚15cm超)又は必要,有り,12.0km以下,全ての費用	m3	1				
合計								
単価							円/m3	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 24号	殻処分	殻種別:アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 アスファルト殻 (掘削)		Y007600000003	m3	1				
合計								
単価							円/m3	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 25号	殻運搬 (人力積込)	殻種別:コンクリート殻(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬 人力積込		DY1410	コンクリート(無筋)構造物とりこわし,有,0km超え5km未満	m3	1			単 41号
合計								
単価							円/m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 26号	殻処分	殻種別:コンクリート殻(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 コンクリート殻(無筋)		Y007600000004	m3	1				
合計								
単価							円/m3	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 27号	木くず運搬	積込区分:人力積込,種別:根	単位	t	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
木くず運搬		DY1415	t	1				単 42号
合計								
単価							円/t	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 28号	木くず処分	種別:根	単位	t	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 木くず(根)	Y007600001001		t	1				
合計								
単価							円/t	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 29号	スクラップ運搬	発生材種類:スクラップ	単位	t	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場発生品及び支給品運搬	CB010410	クレーン装置付2t積、吊能力2.9t、有り、3.0km以下	t	1				
現場発生品及び支給品積込・荷卸	CB010420	クレーン装置付2t積、吊能力2.9t	t	1				
合計								
単価							円/t	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 30号	スクラップ 処分	種別:ヘビ-H3	単位	t	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	処分費 スクラップ (ヘビ-H3)	Y007600001002	t	1				
	合計							
	単価						円/t	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 31号	交通誘導警備員	交通誘導警備員B	単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	交通誘導警備員B	WB010212	人日	1				単 43号
	合計							
	単価						円/人日	

1次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 32号	みやこ柚木工事看板	規格:1,100×1,400	単位	枚	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	みやこ柚木看板 1100×1400	Z330640020	枚	1				
	合計							
	単価						円/枚	

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 33号 DY1106	植樹柵ブロック設置(京都市型)	第1種	単位	箇所	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	5				[] [1]
	R0125							
	ブロック工		人	10				[] [1]
	R0108							
	普通作業員		人	10				[] [1]
	R0102							
	植樹柵ブロック 第1種(1500×900)		組	100				
	Z301260060							
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				[1] []
	ZS8000004	9%						
	合計							
	単価							円/箇所

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 34号 WB810760	防護柵(横断・転落防止柵)設置工	プレキャストコンクリートブロック建込,ヒール式・パネル式,3m,100m 以上(標準),無,無	単位	m	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	横断・転落防止柵設置工ブロック建込用 ヒール式・パネル式 単価補正1.000(FP3) Q001154004		m	100				
	防護柵(P種) PZ-K800-C 3mスパン Y001191000001		m	100				
	諸雑費(まるめ) ZS3000004		式	1				
	合計							
	単価							円/m

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 35号 WB810770	防護柵(横断・転落防止柵)撤去工	プレキャストコンクリートブロック建込, ビーム式・パネル式, 2m, 無, 無	単位	m	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
横断・転落防止柵撤去工ブロック建込用 ビーム式・パネル式 単価補正1.450 (FP3)		Q001166004	m	100				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価								円/m

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 36号 WB810770	防護柵(横断・転落防止柵)撤去工	プレキャストコンクリートブロック建込, 門型, 3m, 無, 無	単位	m	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
横断・転落防止柵撤去工ブロック建込用 門型 単価補正1.000 (FP3)		Q001166005	m	100				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価								円/m

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 37号 WB824010	構造物とりこわし	無筋構造物, 人力施工, 無し, 無し	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
無筋構造物 昼間 人力施工 制約無 単価補正1.000 (FP3)		Q001611002	m3	1				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価								円/m3

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 38号	チェンソー		単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	カソリン レギュラー Z006704001		L	3.5				[] [1]
	チェンソー[カソリンエンジン] 鋸長600mm 排気量0.080L M002035004		日	1				[] [1]
	諸雑費(率) ZS7210100	4%	式	1				[1] []
合計								
単価							円/日	

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 39号 DY1414	木くず積込	人力積込	単位	t	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
普通作業員			人	5				
諸雑費(まるめ)			式	1				
合計								
単価							円/t	

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 40号 DY1411	廃路盤材運搬	機械積込, 有, 10km以上20km未満	単位	m3	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級		20, 岩石工の割増対象にしない, 1, 0時間, 交替制を適用しない, 0, しない, しない, 0時間	日	0.5				単 44号
諸雑費(まるめ)			式	1				
合計								
単価							円/m3	

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 41号 DY1410	殻運搬 人力積込	コンクリート(無筋)構造物とりこわし,有,0km超え5km未 満	単位	m3	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	K0301001	20, 岩石工の割増対象にしない, 1, 0時間, 交替制を 適用しない, 0, しない, しない, 0時間	日	1.13			単 45号	
	ZS3000004		式	1				
合計								
単価							円/m3	

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 42号 DY1415	木くず運搬	人力積込,有,10km以上20km未 満	単位	t	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	K0301001	20, 岩石工の割増対象にしない, 1, 0時間, 交替制を 適用しない, 0, しない, しない, 0時間	日	3.14			単 45号	
	ZS3000004		式	1				
合計								
単価							円/t	

2次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 43号 WB010212	交通誘導警備員B		単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	交通誘導警備員B		人	1				
	R0804							
	諸雑費(まるめ)		式	1				
	ZS3000004							
	合計							
	単価							円/人日

3次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 44号 K0301005	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級	20, 岩石工の割増対象にしない, 1, 0時間, 交替制を 適用しない, 0, しない, しない, 0時間	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運転手(一般)		人	1				
	R0115							
	軽油		L	58				
	Z006702002							
	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級	機械条件: 供用 持込	供用日	1.28				
	M000301005							
	タイヤ損耗費 10t積級 良好 供用日		供用日	1.28				
	Z010020105							
	諸雑費(まるめ)		式	1				
	ZS3000004							
	合計							
	単価							円/日

3次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛適用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 45号 K0301001	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級	20. 岩石工の割増対象にしない, 1, 0時間, 交替制を 適用しない, 0, しない, しない, 0時間	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	運転手(一般)		人	1				
	R0115							
	軽油		L	21				
	Z006702002							
	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級	機械条件: 供用 持込	供用日	1.28				
	M000301001							
	タイヤ損耗費 2~3t積級 良好 供用日		供用日	1.28				
	Z010020025							
	諸雑費(まるめ)		式	1				
	ZS3000004							
	合計							
	単価							円/日

特記仕様書（個別工事編）

工事名 歩道整備（その2）工事（洛西11号線（新林中通））

工事場所 京都市西京区大枝西新林町四丁目他地内

1 一般事項

第1条（適用）

本工事の施工に当たっては、「設計図書」によるほか、土木請負工事必携（以下「請負工事必携」という。）（令和7年8月京都市）」及び「特記仕様書（全工事共通編）（令和8年4月）」によらなければならない。

なお、本工事施工現場には、必ず請負工事必携、特記仕様書（全工事共通編）及び本特記仕様書を常備しなければならない。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「監督・検査」⇒「工事（土木、舗装、樹木等）の仕様書、様式等」参照

請負工事必携・特記仕様書（全工事共通編）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000292439.html>

第2条（受注者希望方式による「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」の実施）

- 1 本工事は「京都市建設局週休2日工事」の対象（受注者希望方式による「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」）であり、「京都市建設局週休2日工事実施要領」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000322908.html> に基づいて実施する。ただし、「通期の週休2日」は必須である。
- 2 受注者は、契約後すみやかに、「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」の実施を希望するか否かを、発注者と協議し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。また、施工計画書の作成に当たっては、「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」の実施内容を反映させること。
- 3 「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」を達成した場合は、工事成績評定の考査項目「創意工夫」において、加点対象となる。
- 4 受注者は、本市が週休2日の推進を目的に受注者に対して実施する「京都市建設局週休2日工事」に関するアンケート調査やヒアリング調査に、随時協力しなければならない。
- 5 工事標示板に「京都市建設局週休2日工事」である旨を明示すること（様式不問）。

第3条（受注者希望方式による「建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の実施）

- 1 本工事は「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の対象（ただし、受注者希望方式）であり、「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事試行要領」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000338803.html> に基づいて実施する。
- 2 受注者は、契約後速やかに、建設キャリアアップシステムの活用を希望するか否かを、発注者へ通知し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。
- 3 建設キャリアアップシステムの履行状況を確認できた場合は、工事成績評定の考査項目「創意工夫」において、加点対象となる。

第4条（ウィークリースタンスの実施）

本工事は、ウィークリースタンスの対象である。

実施に当たっては、「京都市建設局ウィークリースタンス実施要領」に基づき、受発注者相互に協力し、以下の項目について取り組むこととする。

- (1) 休日明け日（月曜日等）は依頼の期限日としない。
- (2) 休前日（金曜日等）に新たな依頼をしない。
- (3) 勤務時間外に書類作成等の依頼をしない。
- (4) 昼休みや勤務時間外の打合せを行わない。
- (5) 作業内容に見合った作業期間を確保する。（適正な期限日を設定する。）
- (6) 打合せは Web 会議（ビデオ会議機能）も活用する。

なお、工事の特性を踏まえ、災害等の緊急的な対応、第三者等の要求に伴う対応及び関係機関等との協議による休日又は夜間作業等により、取組が実施できない場合の対処方法（依頼や期限に関する特例、代休、振替休日の措置等）については、受発注者で確認し、共有する。

第5条（前払金）

前払金は、請負代金の40%以内とし、中間前払金は、同様に20%以内とする。なお、前払金保証（中間前払金保証を含む。）について、電子証書の提出を可能とする。

※ 京都市入札情報館ホームページ「契約保証及び前払金保証に係る保証証書の電子化への対応について」参照（<https://www2.city.kyoto.lg.jp/rizai/chodo/info/pdf/2023/shoushodenshika.pdf>）

2 現場条件に関する事項

第1条（現場条件）

本工事の施工に当たっては、下記の現場条件等に留意すること。

- 1 当該路線は、新林小学校の通学路であるため、登下校時においては児童の安全確保を徹底すること。また、児童に限らず、通行する歩行者や自転車等の安全を確保すること。
- 2 横断防止柵の設置間隔等について、事前に監督職員に確認すること。
- 3 当該路線は、洛西東新林市営住宅団地の車両出入口に面しているため、交通規制区間と交通誘導警備員の配置計画について、事前に監督職員と協議すること。

第2条（工事規制）

- 1 本工事施工箇所は、京都市道路工事調整会規約施行細則第17条に掲げる工事規制のうち、次の各号の規制種別に係る規制路線及び地域内であることから、同条に基づく規制期間及び規制内容を遵守しなければならない。なお、規制範囲は歩車道を含めた全幅とする。

京都市道路工事調整会規約施行細則

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000003649.html>

年末年始規制

規制種別	規制路線及び地域	規制期間	規制内容
年末年始規制	幹線道路	12月20日～1月5日	規制期間中は、新たな工事に着手し、又は工事区域を拡大してはならない。ただし、道路の仮復旧等、一般交通に開放するための工事はこの限りでない。
	準幹線道路		
	その他道路	12月27日～1月5日	

第3条（交通誘導警備員）

交通誘導警備員については、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署等の打合せの結果、又は条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

配置場所	交通誘導警備員 (1日当たりの編成人数)	編成	昼間・夜間・ 24時間の別	交替要員の有無
工事区間	3名	交通誘導警備員B 3名	昼間	無

第4条（工事現場の現場環境改善等）

現場環境改善等の実施項目については、以下のとおりとする。

なお、現場条件等により下記項目に変更が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとする。

みやこ杣木を使用した木製の工事標示板の設置

（項目、仕様及び設置枚数の例）

項 目	仕 様	設置枚数
工事標示板	<ul style="list-style-type: none"> ・みやこ杉木を用いた看板 納品時に、生産事業体が発行する「みやこ杉木の出荷証明書」の原本又は写しを提出すること。 ・看板サイズは 1,100×1,400mm とする。 ・表示面はアクリル板とし、アクリル面に業務内容を印字する。 (文字数：180 字程度) 	2 枚

また、設置箇所及び表示する内容については、監督職員と協議のうえ決定するものとする。

3 監督職員の確認に関する事項

第1条（材料確認）

受注者は、次表の材料・資材・製品について、監督職員が臨場のうえ、材料確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に材料等の名称・規格等を記載すること。

受注者は、監督職員が材料確認のために臨場した際、当該材料等の製造者が発行する品質を証明する資料（見本を含む）との照合、搬入された材料等の外観（角欠け、ひび割れ等）、形状、寸法及び数量等の確認を受けなければならない。

ただし、監督職員の確認が机上となる場合、受注者は、当該材料等の外観、形状、寸法（幅、長さ、高さ）及び搬入数量等が判別できる写真記録等の資料（納品書、納品伝票も可）を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該材料等を使用して工事を実施してはならない。

土木工事施工管理基準「品質管理基準及び規格値」に基づき実施する製品及び材料

材 料・製 品	備 考
プレキャストコンクリート製品 (JIS I類、JIS II類含む)	「品質管理基準及び規格値」 (区分・項目・方法・頻度)
アスファルト合材（透水性舗装含む）	「品質管理基準及び規格値」 (区分・項目・方法・頻度)

監督職員の指定に基づき実施する材料・資材及び製品

（「品質管理基準及び規格値」に基づき実施する製品及び材料以外）

工種・種別等	細 別	材 料 ・ 資 材 ・ 製 品
防護柵工・防止柵工	転落（横断）防止柵設置	横断防止柵（柵高:0.8m、ダークブラウン）
		基礎ブロック各種

第2条（受注者の臨場）

監督職員が行う段階確認においては、主任技術者（又は監理技術者、或いは監理技術者補佐）又は現場代理人、若しくは、予め監督職員の承諾を得た者が臨場のうえ、確認を受けなければならない。

第3条（段階確認）

受注者は、共通仕様書（3-1-1-4）の「表3-1-1段階確認一覧表」に示す各種別、「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目及び次表の工種・種別等の施工段階において、監督職員が臨場のうえ段階確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に確認内容を記載すること。

ただし、監督職員による確認が机上となる場合、受注者は、施工状況、出来形、品質、不可視部分等の判別ができる施工管理記録（出来形成果表、設計図面との対比図、品質管理記録等）と写真等の資料を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該工種以降の作業を実施してはならない。

「共通仕様書（3-1-1-4）の「表3-1-1段階確認一覧表」に基づき実施する段階確認

工種-種別等	細 別	確 認 時 期
舗装工-舗装打換え工	下層路盤	プルーフローリング実施時

監督職員の指定に基づき実施する段階確認（「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目含む）
 （「共通仕様書（3-1-1-4）」の「表3-1-1 段階確認一覧表」に基づき実施する段階確認以外）

工種-種別等	細 別	確 認 項 目
舗装工-舗装打換え工	舗装版破碎	既設舗装厚
縁石工-縁石工	地先境界ブロック	埋戻し前の状況（基礎碎石厚等）
	植樹柵	
縁石工-防根シート設置工	防根シート設置	埋戻し前の状況（防根シート設置状況等）
防護柵工-防止柵工	転落（横断）防止柵設置	埋戻し前の状況（基礎碎石厚、基礎ブロック設置状況等）

第4条（立会確認）

受注者は、次表に示す内容について、監督職員と現地で立会を行い、確認するものとし、監督職員が確認するまでは次の作業に進んではならない。

項 目	確 認 方 法・目 的 等
保安施設設置状況	工事による事故防止のため、監督職員と立会確認をする。 （ただし、立会確認書は必要としない。）
ダンプトラックの過積載 状況確認	ダンプトラックによる過積載防止のため、監督職員と立会確認をする。 （ただし、立会確認書は必要としない。）

第5条（品質管理試験）

本工事の施工に伴う品質管理試験の項目や規格値等については、土木工事施工管理基準（品質管理基準及び規格値）に記載のとおりとする。

4 建設副産物に関する事項

第1条（建設副産物の適正処理）

1 建設廃棄物が発生する場合の対応

本工事の施工により発生する建設廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の許可を受けた施設へ搬出するものとする。

なお、下表は積算上の条件明示であることから施設を指定するものではなく、監督職員の承諾を得て搬出先の変更を行うことができるが、原則として設計変更の対象としない。

また、産業廃棄物が発生する場合は「京都市産業廃棄物の不適正な処理の防止等に関する条例」（最終改正平成23年4月1日）を遵守すること。

特に、マニフェストを発行して産業廃棄物が適正に処理されたことを確認すること。このとき、受注者が排出業者であることとして保管の義務のあるA、B2、D、E票については、その原本を監督職員へ提示すること。

<産業廃棄物>

建設副産物	受入場所	備 考
廃路盤材	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都市伏見区横大路松林18-1	設計運搬距離 L = 11.5km 設計単位体積重量 $\gamma = 2.04\text{t/m}^3$
アスファルト塊 (掘削)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都市伏見区横大路松林18-1	設計運搬距離 L = 11.5km
コンクリート塊 (無筋)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都市西京区榎原芋峠60-3	設計運搬距離 L = 2.0km
建設発生木材 (根)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都市伏見区横大路千両松45	設計運搬距離 L = 10.8km

2 舗装切断時等において発生する濁水及び粉塵

受注者は、舗装切断時等において発生する濁水を回収し、産業廃棄物（汚泥）として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理しなければならない。

また、受注者は、濁水が生じない工法（空冷式等）を採用した場合も、濁水と同様に、吸引する装置の併用など、粉塵飛散防止対策を実施するとともに、収集した粉塵については、産業廃棄物として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理しなければならない。

当初設計には濁水及び粉塵の収集運搬及び処分に掛かる費用は計上していない。濁水処理費等が必要な場合は、設計変更の対象とする。

3 建設発生土が発生する場合の対応（指定地処分）

受入地が発行する書類、伝票などの写しを監督職員に随時提出するとともに、その原本との照合による確認を検査時まで監督職員に受けるものとする。

なお、建設発生土の搬出に当たり、仮置きが必要な場合は、沿道環境に配慮した搬出計画を立てるものとし、書面等により事前に監督職員の確認を受けること。

原則、下表に示す受入先へ搬出するものとするが、土質性状や搬入時期等により搬出できない場合は、監督職員と協議のうえ、その指示によるものとする。

ただし、実施日において、公共工事間で流用可能な場合は、工事間流用を最優先するものとし、設計変更の対象とする。

<建設発生土>

建設副産物	受入場所	備考
建設発生土	(指定地処分) 豊坂建材株式会社 京都市西京区樫原芋峠60-3	設計運搬距離 L=2.0km

本工事では土壌調査費等を計上していないが、建設発生土について、以下の事項のいずれかに該当する場合は土壌調査が必要となる。その場合は、設計変更の対象とする。

- (1) 指定している受入場所がある地方公共団体の関係法令に基づく土地の埋立等の許可を得た事業者である場合
- (2) 本工事の土砂等の性状（色、臭い等）や廃棄物の混入等の状況が埋立基準に適合しないおそれがある場合
- (3) 上記の(1)(2)以外に土壌調査が必要となった場合

なお、土壌調査を実施することとなる場合は、建設発生土の搬出前に土壌調査を実施し、以下の資料を監督職員に提出すること。

- (1) 土壌分析結果証明書（計量法第122条第1項の規定により登録された計量士のうち、濃度に係る計量士が発行した土壌の分析結果を証する書類（測定方法を明示したもの））
- (2) (1)の試料を採取した地点を示す図面及び当該地点の写真

4 建設発生土の受入地の変更

土質性状や搬入時期等により指定する受入地に搬出ができない場合、監督職員は京都市土木積算システム設計単価第5編及び公共物GISに掲載している他の施設の中から積算上の2番目以降の受入地（以下、「積算受入地」という。）を順次指定し、受注者は搬出の可否を確認するものとする。

積算受入地への建設発生土の搬出について、監督職員と協議のうえ決定するものとし、設計変更の対象とする。

なお、受注者は、積算受入地に代えて、京都市土木積算システム設計単価第5編及び公共物GISに掲載している他の施設、又は廃棄物の処理及び清掃に関する法律の許可を受けた施設の中から別の受入地（以下、「提案受入地」という。）を提案することができる。

提案受入地への建設発生土の搬出が適正であると認められる場合はこれを妨げないが、設計変更の対象としない。また、提案受入地での処分に掛かる費用が、積算受入地での処分に掛かる費用を下回る場合は、減額の設計変更を行うものとする。

5 スクラップについて

本工事の施工により発生するスクラップは、下表の条件で積算している。

なお、搬出先は必要な許可を有するものとし、その証明書の写し（搬出先を変更したときのみ）

と処分量を明記した証明書（受入確認書等）を監督職員に提出すること。

建設副産物	受入場所	備 考
スクラップ (ヘビーH3)	京都市西京区榎原秤谷30番地1	設計運搬距離 L = 2.4km

第2条（特定建設資材の分別解体等及び再資源化等）

(1) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(最終改定令和7年6月1日)(以下「建設リサイクル法」という。)に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等及び再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は、契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上明示した以下の事項と別の方法であった場合でも設計変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

分別解体等の方法

	工 程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	①仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎工(杭基礎等)	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他()	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

※ 特定建設資材廃棄物を排出する場合、再資源化施設等の所在地については、本特記仕様書に示す「建設副産物の適正処理について」に記載のとおりとする。

(2) 受注者は、特定建設資材の分別解体等及び再生資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を別に定める18条様式に記載し、監督職員に報告すること。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

なお、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を提出した場合、18条に基づく報告を省略することができるものとする。

5 その他事項

第1条（工事書類の提出）

完成検査の受検に向けた出来形図書については、工期末の1ヶ月前までに提出すること。また、完成検査に必要な工事書類については、工期末の2週間前までに提出すること。

第2条（受注者希望型におけるICT活用工事の試行）

- 1 本工事は、「京都市建設局ICT活用工事試行方針（案）」（令和7年8月）（以下「試行方針」という。）及び「京都市建設局ICT活用工事試行要領（案）」（令和7年8月）（以下「試行要領」という。）の内容に従いICT活用工事を試行できる。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「高度情報化」参照
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000290097.html>

- 2 試行の対象工種は「試行方針」に定めた工種とし、「試行要領」の対象工種の詳細に基づき、ICT活用工事を試行できる。
- 3 受注者が試行を希望する場合、契約後施工計画書の提出までに、受注者はICT活用の効果、具体的な工事内容・数量及び対象範囲について、発注者へ提案、協議を行うこと。発注者と協議が整った施工プロセス①～⑤の全て又は何れかの段階で、ICT施工技術を活用できる。
なお、試行の対象工種が土工、舗装工、舗装工（修繕工）の場合は、施工プロセス①、②、③又は②、④、⑤を含む3つ以上の施工プロセスの活用を基本とし、その他のプロセスを含め協議により選定できる。
 - ① 3次元起工測量
 - ② 3次元設計データ作成
 - ③ ICT建設機械による施工
 - ④ 3次元出来形管理等の施工管理
 - ⑤ 3次元データの納品
- 4 ICT活用工事の費用については、当初は計上せず、発注者との協議が整った各施工プロセスの段階を設計変更に必要な経費を計上する。受注者は設計変更に必要な見積書を提出すること。
- 5 「試行要領」により有効に試行したことが認められた場合は、工事成績の「創意工夫」及び「工事特性」の項目で加点評価する。ただし、①3次元起工測量の1プロセスのみの活用は除く。

第3条（情報共有システムの利用）

- 1 本工事は、情報共有システム（以下「システム」という。）の利用対象とする。
システムの利用に当たっては、「京都市建設局情報共有システム活用ガイドライン（令和6年3月）（※）」（以下「ガイドライン」という。）を遵守するものとし、ガイドラインの内容を十分に確認したうえで事前協議を行うこと。
- 2 利用するシステムは、ガイドラインで定める要件を満たすシステムの中から、受注者が選定すること。
- 3 システムの利用に係る費用は共通仮設費率分に含まれており、システム提供者との契約や利用に係る手続等は受注者が行うものとする。
- 4 システムで発議・提出・受理などの処理を行った工事帳票は、「京都市建設局電子納品実施要

領」(以下「要領」という。)に基づき作成された仕様の電子データで出力し納品すること。

なお、要領は適宜改正されることから、適宜、京都市情報館を確認すること。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」参照

(<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000280681.html>)

第4条(受注者希望型における遠隔臨場の実施)

本工事は受注者の希望により遠隔臨場を行うものとする。

1 目的

本工事は、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領(案)」(令和5年3月)及び「建設現場における遠隔臨場に関する監督・検査実施要領(案)」(令和5年3月)の内容に従い実施するものとする。

2 実施内容

(1) 「段階確認」、「材料確認」及び「立会」の実施

ア 受注者が動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)により撮影する映像と音声を監督職員へWeb会議システム等を使用し、双方向の通信により会話しながら確認する。実施内容については、受発注者間の協議により決定するものとする。

イ 遠隔臨場に使用する動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)の資機材は受注者が準備するものとする。ウェアラブルカメラ等の資機材は、使用製品を限定するものではなく、一般的なAndroidやi-Phone等のモバイル端末を使用することも可能である。ただし、監督職員が使用するパソコン等の機器・ネットワーク環境に適合する資機材を使用するものとし、資機材の選定に当たっては監督職員から承諾を得ること。

なお、動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)の使用は、「段階確認」、「材料確認」及び「立会」だけではなく、現場不一致、事故などの報告時等でも活用効果が期待されることから、受注者の創意工夫等、自発的に実施する行為を妨げるものではない。

(2) 効果の検証

遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査を実施する場合は、調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

(3) 費用

遠隔臨場の実施に掛かる費用については、積上げ計上していないが、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領(案)」(令和5年3月)の内容に従い、遠隔臨場の実施に要する費用を設計変更の対象とする。

なお、遠隔臨場の実施方法については、施工計画書提出までの協議において提案するものとする。また、受注者はその費用について見積書を提出するものとする。

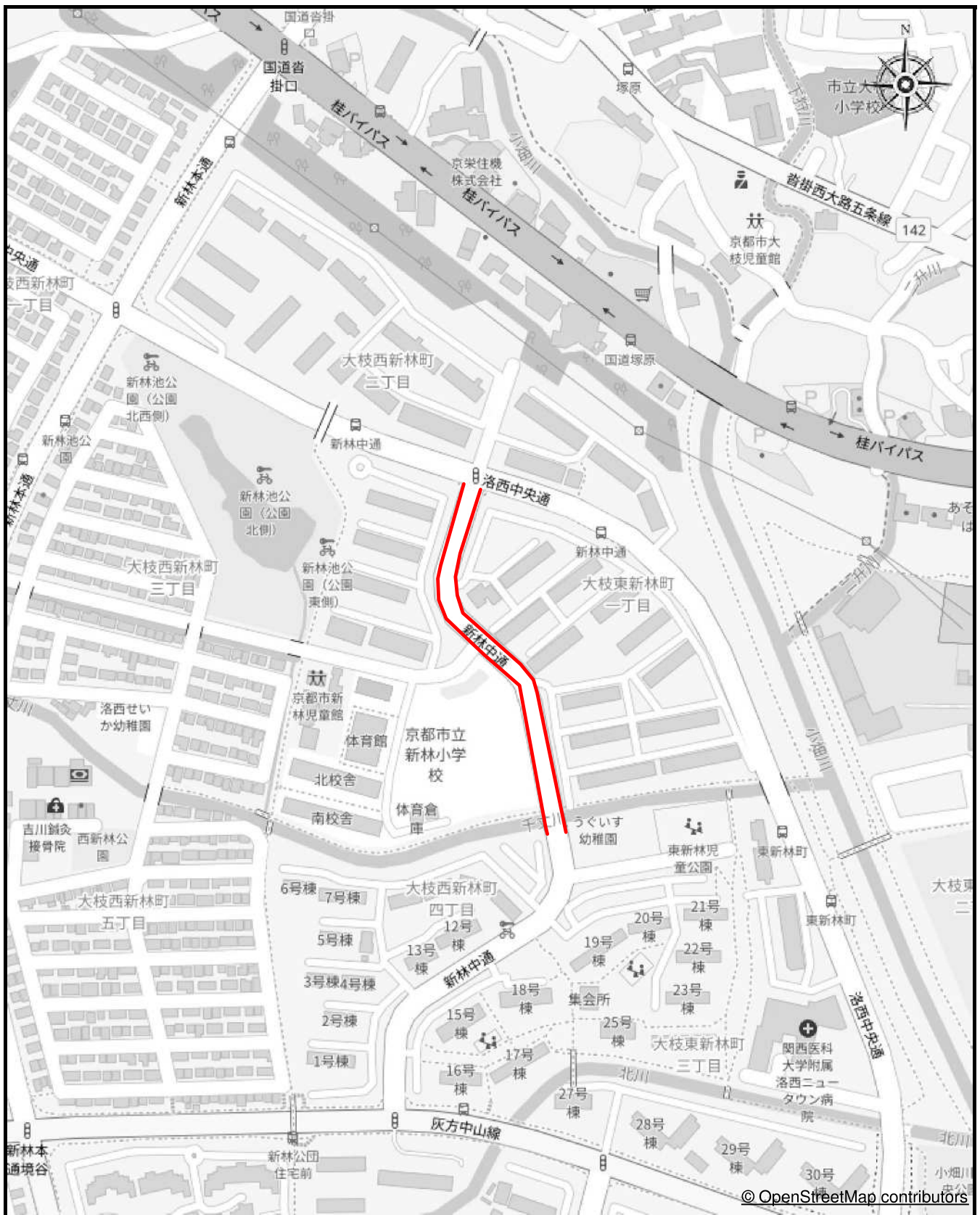
(4) 成績評定

遠隔臨場を実施した工事の成績評定は、考査項目「創意工夫」において、1点の加点とする。


第5条(規格・条件の補足)

本工事における工種の規格・条件については、「時間的制約」、「夜間作業」、「障害等の有無」は「無し」、「騒音振動対策」は「必要」としている。

位置図



1 / 4000

 工事箇所